

報告者名	梅屋 潔	被調査者生年	1943年(男)
調査者名	梅屋 潔	被調査者属性	気仙沼市市議
補助調査者	なし		

尾形家(オオイ)のお年取り

昨年に引き続いて尾形家のお年取りに立ちあつた。10時ごろから。ミョウジン(明神)さん、金比羅さん、イワクラさん(お天王さん)、オクマンさま(三峰神社)、井戸神、蔵の跡地を拝む、という手順はかわらない。巾着から米を撒き(オハネリ)、二礼二拍一礼して拝む。ただし、今年は、ミョウジンさん、オクマンさまの震災後の大火で焼け落ちていた鳥居が再建されており、注連縄を張った。1810年建築という貴重な有形文化財である尾形家は日本ナショナルトラストなどの尽力で再建を目指しているが、気仙沼市民の悲願だった大島架橋の予定地が小々汐の尾形家跡地にかかっているために、もとの場所に再建することは困難であるとのこと。文化庁と東京文化財研究所のもと文化財レスキューという枠組みのもとに国立歴史民俗博物館の尽力で部材はクリーニングされ、廃校になった月立小学校校舎に保管されている(国立歴史民俗博物館編2012『被災地の博物館に聞く―東日本大震災と歴史・文化資料』吉川弘文館、206-241頁)。



写真1 建て直した鳥居に親子で注連縄をかける。



写真2 ミョウジンサンにお年取りの参拝を行う。



写真3 金比羅さんへの参拝。



写真4 再建された三峰神社の鳥居に注連縄を張る。